

# 町の話題

## みんなで餅つき楽しいな すこやか園で親子楽しみ会

1月28日に仙南幼稚園・保育園（すこやか園）で親子楽しみ会が開かれ、3歳児から5歳児までの園児とその保護者の皆さん約220名が参加しました。

会では、保護者有志や職員による寸劇が披露されたほか、園児たちが年齢別に分かれて餅つきに挑戦。子どもたちは、「よいしょ、よいしょ」という掛け声とともに自分の背丈ほどの長さの杵を振り下ろし、一生懸命餅をつきました。

家庭で餅つきをすることが少なくなった現在、会場では貴重なシャッターチャンス逃がすまいと身を乗り出して撮影する保護者の皆さんの姿が見られました。



お父さんたちがヒーローに扮して鬼退治!▶



■佐々木副町長(前列右)に絵本を手渡す  
相馬会長(前列左)と会員の皆さん

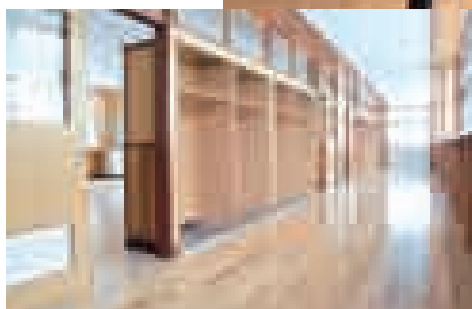
## 大曲ロータリークラブ 美郷町学友館に大型絵本と紙芝居を寄贈

このたび、大曲ロータリークラブ（相馬完会長）から、子どもたちに本に親んでもらえるようにと、美郷町学友館に大型絵本6冊と紙芝居9冊を寄贈いただきました。紙芝居9冊のうち3冊は防災をテーマにしたもので、小さなお子さんにも無理なく地震などのイメージを伝えることができます。

寄贈いただいた絵本と紙芝居は、図書館ボランティアによる読み聞かせ活動に活用されるほか、学友館内の児童書閲覧コーナーでご覧いただけます。どうぞご利用ください。

## 木の温もりあふれる校舎が完成 美郷中学校増築校舎内覧会

4月に開校する美郷中学校の内覧会が2月6日に開かれ、新入学生や地域住民など124名が現六郷中学校に増築された校舎を見学しました。増築されたのは普通教室や美術室などを備えた南棟と、職員室や生徒玄関を備えた管理棟の2棟。どちらも鉄筋コンクリート構造ですが、内装に木材をふんだんに取り入れたことで、温かみのある校舎となっています。見学に訪れた子どもたちは「明るくてきれい」「廊下が広い」などと家族で話しながら、春から始まる美郷中学校での生活に胸を躍らせている様子でした。



▲職員の説明を受けながら教室内を見学する皆さん  
◀南棟廊下。増築校舎全体に木材がふんだんに使われています。

## ご長寿おめでとうございます 戸澤恭助さんが満100歳に

2月17日に、この日満100歳の誕生日を迎えられた戸澤恭助さん（第一晩）のもとを松田町長が訪れ、長寿祝い金を手渡しました。戸澤さんは、幼少期を旧千屋村で過ごし、戦前に満州に渡り農業指導などに従事。戦後、日本に戻ってからは現在の地に入植し、開拓に尽力されました。趣味は演歌や民謡を歌うことで、カラオケ大会で数々の賞を受賞するほどの腕前です。松田町長が「これからも歌を続けてご長寿を重ねてください」と声を掛けると、「寝たきりにならないよう、これからも動いていたい」と答え、握手を交わしました。戸澤さん満100歳のお誕生日おめでとうございます。



進学・進級を控えた生徒たちに熱いエール

俳優・柳葉敏郎さんが  
六郷中学校で閉校記念講演

2月21日に六郷中学校で大仙市出身の俳優・柳葉敏郎さんによる閉校記念講演が行われました。講演は柳葉さんと同郷で幼馴染みの永澤宏明教諭を司会にトークショー形式で行われ、浪人生活や芸能界でのエピソードなどを交えたユーモアあふれる内容に全校生徒や地域住民が耳を傾けました。

柳葉さんは講演の最後に、これから受験を迎える3年生と美郷中学校に進級する1、2年生に向けて「新しいことをするには勇気がいるが、何もしなければ次の段階には進めない。協力してくれる人が必ず周りにいるので、その人たちへの感謝の気持ちを忘れずにがんばっていこう」と、熱いエールを送りました。



講演の合間に行われた生徒からの質問タイム。柳葉さんから質問を返される場面もありました。▶



栄養はあり余っているはずですが、最近、家内が体を心配して購入してきた栄養補助食品を試しています。決して暗示にかかる性格ではありませんが、なんとなく体調がいいのが癪なところ。言うまでもなく、こうした栄養補助食品は健康維持が目的です。ここ数年随分と種類が増えたとのことで、やはり「人は健康とその先にある長寿



▲秋田県立大学との連携協力協定締結式であいさつを述べる松田町長



「連鎖」

美郷町長 松田知己

に意識があるんだな」と思うところ。です。

こんなことを考えると、私は決まっている人物が頭に浮かんできます。現在テレビで活躍中の「平清盛」です。なぜ清盛かと言うと、それはまったく手塚治虫先生のせい。代表作の漫画「火の鳥」に平清盛が不老不死を欲して火の鳥を手に入れようとする描写があります。それが深く印象に残っているからです。火の鳥は永遠の命を有しており、ある時期になると自らの体を焼いて、また新たな体に生まれ変わるといったことになっています。つまり不死鳥の持つ永遠の命とは、途切れない命の連鎖ということのようです。

さて、今月いっぱいをもって町内の3中学校はその歴史に幕を下ろします。しかし、これで

各校の伝統が無に帰するわけはありません。大切にしたい各校の伝統は美郷中学校という器で確実に融合し、火の鳥と同様に新たな姿に生まれ変わります。脈々として途切れない連鎖を生み出します。ですから間もなく卒業式を迎える卒業生をはじめ、2年生や1年生のみなさんも、胸を張って次のステップに踏み出してください。そして、有終の美を飾るとともに次に繋げたこの一年間の生活を誇りにしてください。みなさんが過去と未来の結節点をつくり、途切れない連鎖の姿をつくるのですから。不老不死は誰しもが願い、しかし誰しもが為し得ていません。それでいいのだと思います。だからこそ私たちは諸行無常を理解し、「今を生きる」姿勢を持ち、そしてその延長線にある結節点や連鎖を意識していくのですから。

珍しく今月は難しい話になりました。たまにはごめんしてください。